

JW センター主催「廃棄物処理法初心者のための Web 講座」 令和 5 年度 第 2 弾 開催報告

FROM JW CENTER

総務部広報室

第 2 弾は、第 1、3、4 回は産業廃棄物の 20 種類の区分等について長岡文明氏にご講義いただき、第 2、5 回は山形県庁の現役職員 3 名の方に、演習とその解説、及び実務上の心構え等をご講義いただきました。

●開催概要

[研修名] 廃棄物処理法初心者のための Web 講座

[講師] 第 1、3、4 回

長岡 文明 氏 (BUN 環境課題研修事務所 主宰)

第 2 回、5 回

横山 英史 氏 (山形県環境エネルギー部 循環型社会推進課 廃棄物対策専門員)

神田 善弘 氏 (山形県置賜総合支庁 保健福祉環境部 環境課課長補佐 (廃棄物対策担当))

三浦 大平 氏 (山形県最上総合支庁 保健福祉環境部環境課 環境リサイクル主査)

[開催方法] Web 会議システム (Webex) を用いたオンライン講義

[対象] JW センター職員及び環境省・都道府県政令市等の産業廃棄物部局のご担当者

[開催日時及び講義内容]

講義内容	日 時
第 1 回 産業廃棄物 20 種類の区分 (1)	令和 5 年 7 月 19 日 14:00~16:30
第 2 回 収集運搬業の許可事務に係る実務と心構え、演習	令和 5 年 7 月 26 日 14:00~16:30
第 3 回 産業廃棄物 20 種類の区分 (2)	令和 5 年 8 月 1 日 14:00~16:30
第 4 回 特別管理産業廃棄物	令和 5 年 8 月 8 日 14:00~16:30
第 5 回 廃棄物処理法と現場対応の基礎、演習	令和 5 年 8 月 22 日 14:00~16:30

野村興産株式会社 イトムカ鋳業所 施設見学報告

FROM JW CENTER

情報サービス部 伊東 匠

令和 5 年 7 月 6 日 (木)、7 日 (金) に野村興産株式会社イトムカ鋳業所が取り組む水銀使用製品等のリサイクル状況の取材に併せ、同社の施設を見学しました。



施設見学では、イトムカ鋳業所の特徴である中間処理から最終処分までの完結型施設について処理の流れと合わせて学ぶことができました。特に管理型最終処分場は二重遮水式鉄筋コンクリート構造となっており万全の対策を講じられていることが印象的でした。また、手袋をした状態ではありますが、水銀に触れる機会もあり貴重な体験をすることができました。

取材及び施設見学に応じていただいた野村興産株式会社イトムカ鋳業所の築地原様、森谷様、中村様、各施設の担当者様には、心より感謝申し上げます。

第34回廃棄物資源循環学会研究発表会 参加報告

FROM JW CENTER

調査部

令和5年9月11日（月）～13日（水）に「第34回廃棄物資源循環学会研究発表会」が開催されました。昨年は、会場参加とオンライン参加のハイブリッド開催でしたが、今年の発表は大阪市の大阪工業大学大宮キャンパスの会場で行われました（口頭発表はオンライン配信）。

JWセンターからは、以下2件の調査結果について、9月11日に会場で口頭発表を行いました。発表資料はJWセンターホームページをご覧ください。

●発表タイトル

- ・産業廃棄物処理業者における電子マニフェスト利用の現状と課題に関する考察 PDF を掲載した URL
- ・排出事業者における社内研修に関するアンケート調査結果 PDF を掲載した URL

協賛団体展示では、JWセンターが実施するマネジメント研修会のポスターを掲示し、排出事業者の社内研修等でご活用いただけるように周知を行いました。

今後も、産業廃棄物の適正処理や電子マニフェスト情報の利活用に関する調査について、学会での発表等を通じて、広く関係者の皆さまに周知し、皆さまからのご意見をいただきたいと考えております。



協賛団体展示ポスター

株式会社日本フードエコロジーセンター 施設見学会

FROM JW CENTER

JWセンターでは職員育成のため、令和5年9月15日（金）に「株式会社日本フードエコロジーセンター」の飼料化施設及び「さがみはらバイオガスパワー株式会社」運営によるバイオガス発電所の施設見学会を実施しました。



同センターは、食品関連事業者から、約35t/日の分別管理された食品循環資源を収集し、約42t/日の養豚用のリキッド発酵飼料を製造しています。リサイクルの推進のみならず、契約養豚生産者と協力し、付加価値のある豚肉を生産、食品関連事業者で販売を行うという食品リサイクル・ループを構築し実施しています。

飼料化施設では、廃棄物の受入れから製品化までの飼料化の様子や、飼料化には向かない食品廃棄物を原材料（約50t/日）とし、メタン発酵による発電を行うバイオガス発電所を見学しました。同所は、今年10月から本格稼働を開始、発電した電力は東京電力に売電、災害発生時には地域住民の電源ステーションとして活用されます。

職員は、食品リサイクル・ループが生み出す地域循環を通じた持続可能な社会づくりへの取組みについてお話しを伺い、食品リサイクル事業の背景となる廃棄物処理や畜産経営の課題についても、質疑応答を交えながら理解を深めました。